

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	113	施策	男女共同参画の推進
管理事業	男女共同参画事業	所管部局	市民部

1	所管 室課	人権政策室	事業名	DV防止対策事業			
事業概要							
DV防止対策							
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点	
配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護等のために、相談を実施した。合わせて、イベントのブース出展やホームページ、SNSでの情報発信を通じてDV防止に向けた啓発を実施した。 DVに関する相談件数 令和4年度…651件、令和5年度…730件、令和6年度…732件		決算額 (千円)	491	541	545	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割	
		一般財源 の 比率(%)	40.8	53.4	56.0	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性	
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容	
		DV相談件数は増加傾向にあるが、各々の被害者の状況を考慮し、被害者の保護と自立に向けた支援を丁寧に行った。相談内容について、DV防止法の対象外の方からの相談や、障がい者虐待、高齢者虐待、児童虐待等の様々な問題が複合し、複雑化したケースが増加しているため、関係機関とのより一層の連携が必要となっている。				継続 引き続き関係機関と連携し、相談者のニーズに沿った支援に努める。	

2	所管 室課	人権政策室	事業名	ダブルリボンプロジェクト基金積立事業			
事業概要							
ダブルリボンプロジェクト基金積立							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
DV及び児童虐待防止に関する取組の財源として、Wリボンバッジの売上金の一部のほか、企業や市民からの寄附金等をダブルリボンプロジェクト基金に積み立てた。 (1) Wリボンバッジの販売個数及び金額 令和4年度…1,705個、483,240円 令和5年度…1,421個、396,300円 令和6年度…1,101個、312,300円 (2) 寄附金の件数及び金額 令和4年度…40件、708,717円 令和5年度…39件、764,661円 令和6年度…41件、759,786円			決算額 (千円)	1,132	1,183	1,050	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	31.7	39.1	32.8	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			基金への寄付額は減少傾向にあるため、 回復に向けた取組が必要である。				
				継続			
				Wリボンプロジェクト の周知に努め、安定し た基金運営を行う。			

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

施策コード	113	施策	男女共同参画の推進
管理事業	男女共同参画事業	所管部局	市民部

3	所管 室課	人権政策室	事業名	男女共同参画事業		
事業概要						
男女共同参画プラン策定・推進・啓発						
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
(1) すいた男女共同参画プランの推進 吹田市男女共同参画推進条例に基づき策定したすいた男女共同参画プランの取組を推進し、男女共同参画社会の実現に向けて意識啓発を図った。 また、男女共同参画の推進に関する施策の実施状況について、具体的な数値や成果を示した年次報告を作成し、公表した。 (2) 中学生向け啓発冊子「エール」の発行 年に1回市報すいたに男女共同参画推進のための特集記事を掲載した。また、中学生向けの啓発冊子「エール」を市内中学生に対し配付し、啓発を行った。 (3) 男女共同参画に関する市民意識・実態調査の実施 男女共同参画に関する市民意識の現状を把握し、次期すいた男女共同参画プラン策定の基礎資料とするため、市民2,000人を対象にアンケート調査を行った。		決算額 (千円)	1,586	1,113	2,914	※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	■ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				
		男女共同参画意識の醸成には継続した啓 発が有効であると考えられる。市民や事 業者に対して効果的な手段を検討してい く必要がある。			今後の実施計画 の方向性・内容	
					継続	
		引き続き効果的な啓発 方法を検討しながら実 施する。				

4	所管 室課	人権政策室男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター管理事業		
事業概要						
男女共同参画センター管理						
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
令和6年3月の教育センター移転に伴い、利用者は減少している。 ・施設利用件数及び延利用者数 令和4年度 …利用件数3,731件、延利用者数46,869人 令和5年度 …利用件数3,632件、延利用者数51,355人 令和6年度 …利用件数2,937件、延利用者数39,220人		決算額 (千円)	28,355	35,933	34,244	※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	90.9	92.5	93.2	□ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 ■ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
		築38年の施設であり、設備の機能低下等 が進んでいることから、大規模修繕工事 の実施に向けて準備を進めていく。 また、工事に合わせて対面相談室の設置 など機能の強化を図っていく。				
				継続		
				大規模修繕工事の実施 に向けて、令和7年度 (2025年度)は実施設 計を行う。		

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	113	施策	男女共同参画の推進
管理事業	男女共同参画事業	所管部局	市民部

5	所管 室課	人権政策室男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター主催事業		
事業概要						
男女共同参画センター運営、男女共同参画センター主催講座等、男女共同参画センター保育						
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
(1) 主催講座事業 オンライン講座も取り入れ、多様な市民ニーズに応じた開催方法を行った。 令和4年度…講座数42講座、延開催回数99回、延受講者数1,525人 令和5年度…講座数36講座、延開催回数91回、延受講者数1,466人 令和6年度…講座数35講座、延開催回数81回、延受講者数1,538人		決算額 (千円)	26,651	26,587	30,874	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ■ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
		一般財源 の 比率(%)	99.7	99.5	99.4	
(2) 保育事業 ・保育スタッフ延活動人数 令和4年度…473人 令和5年度…342人 令和6年度…299人 ・保育回数 令和4年度…139回 令和5年度…73回 令和6年度…58回 ・延保育児数 令和4年度…429人 令和5年度…306人 令和6年度…291人		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
		講座の開催について、前年度手応えのあったSNSでの周知を申込締切近くに再度行うなど、SNSの効果的な活用を進め受講者の獲得につなげた。 講座の企画においては、テーマや目的の整理をより丁寧に行った。また、募集のちらしには講師の写真を載せ、内容についての説明を工夫するなど、関心を持ってもらえるよう努めた。結果、参加者が増えた。			継続	

6	所管室課	人権政策室男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター啓発事業			
事業概要							
男女共同参画センター啓発、男女共同参画センター調査研究、男女共同参画センター情報収集・提供							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
(1) 広報事業 広報誌「ソフィア」の発行や、ホームページ、X、Line、Facebookの更新を随時行い、男女共同参画の意識啓発並びにセンターの事業の広報を行った。 ・ソフィア発行回数・部数 令和4年度…2回 令和5年度…2回 令和6年度…2回 (各回6,500部発行) ・Facebook投稿数 令和4年度…50件 令和5年度…33件 令和6年度…15件 ・X(旧Twitter)投稿数 令和4年度…92件 令和5年度…80件 令和6年度…75件			決算額(千円)	5,039	4,663	4,556	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源の比率(%)	100.0	100.0	100.0	■ 有効性 ■ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
(2) 調査研究事業 令和6年度は「デートDV予防啓発出前授業」をテーマに、令和5年度に調査した10年あまりの事業の実績を報告書にまとめて500部発行。 (3) 情報ライブラリー事業 ・図書貸出冊数 令和4年度…3,491冊 令和5年度…2,763冊 令和6年度…2,294冊 ・情報ライブラリースタッフ延活動人数 令和4年度…579人 令和5年度…475人 令和6年度…339人			「ソフィア」を通して男女共同参画についての視点や意図を周知している。タイムリーな特集や、実施した講座の内容紹介など読む人にとって気付きが得られる内容に努めた。 情報ライブラリーの貸出し冊数は、新型コロナウイルス感染症拡大により大きく減少して以降、回復に至っていない。講座の受講者に関連図書を案内する取組は反応があるので、貸出増加につなげていきたい。			今後の実施計画の方向性・内容	
						継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

評価対象年度 令和6年度

7	所管 室課	人権政策室男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター相談事業			
事業概要							
男女共同参画センター相談							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
女性のための各種相談と男性のための電話相談を実施した。 令和4年度までは、当事業で悩み相談を、DV防止対策事業でDV相談を行っていたが、潜在的なDVの掘り起こしを図るため、令和5年度から2つを統合して、当事業で悩み・DV相談を実施している。そのため、令和5年度から当事業の決算額が増加している。 電話相談、悩み・DV相談、法律相談の令和6年度の相談件数は、令和5年度に比べると横ばいである。男性のための電話相談は、件数は増加したが無言電話の多い状況が続いている。 (1) 電話相談件数(女性対象) 令和4年度…770件 令和5年度…669件 令和6年度…692件 (2) 悩み・DV相談件数(女性対象) 令和4年度…245件 令和5年度…219件 令和6年度…233件 (令和4年度は、悩み相談とDV相談を足した数値) (3) 法律相談件数(女性対象) 令和4年度…44件 令和5年度…36件 令和6年度…33件 (4) 男性のための電話相談(男性対象) 令和4年度…15件 令和5年度…43件 令和6年度…68件			決算額 (千円)	4,341	5,797	6,566	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	88.1	79.1	100.0	■ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
				女性対象の電話相談は、令和3年度から、コロナ禍における女性の孤独・孤立への対策等を目的とした国の補助金を活用することで、実施日時を拡充している。令和6年度からは、補助金を受けずに拡充したままで実施している。 令和4年6月から開始した男性のための電話相談は、増加傾向にあるものの、無言電話が多く、実際に悩みを語ってもらった件数は少ない。安心して利用してもらうための工夫が必要である。			継続

8	所管 室課	人権政策室男女共同参画センター	事業名	DV防止対策事業			
事業概要							
DV防止対策							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
令和4年度までは、当事業でDV相談を、男女共同参画センター相談事業で悩み相談を実施していたが、潜在的なDVの掘り起こしを図るため、令和5年度から2つを統合して、男女共同参画センター相談事業で悩み・DV相談を実施している。そのため、令和5年度から当事業の決算額が減少している。 (1) DV防止対策講座事業 令和4年度…講座数12講座、延開催回数20回、延受講者数176人 令和5年度…講座数7講座、延開催回数15回、延受講者数117人 令和6年度…講座数6講座、延開催回数10回、延受講者数139人 (2) デートDV予防啓発事業 ・出前授業実施校数 中学生 令和4年度…11校 令和5年度…14校 令和6年度…11校 高校生 令和4年度…3校 令和5年度…2校 令和6年度…2校 大学生 令和4年度…2校 令和5年度…1校 令和6年度…1校			決算額 (千円)	3,103	1,369	1,211	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	38.3	32.4	47.9	■ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			市民向けのDV防止対策講座については、受講者が集まりにくい傾向にあったため、テーマ選定とタイトルを工夫した結果、受講者が増えた。 中学校向けのデートDV予防啓発出前授業については、全18校中11校で実施した。 前年度は過去最高の14校だったが、それには及ばなかったものの、学校からの依頼の定着がみられるため、今後につなげていく。	
						今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名